「あなたに単純さ・ 純真さの欠けること がないように」

あの最初の十二人には、私は大きな 信心と愛情をもっています。したしています。と、彼らがたしたがであったとは言えません。 た人物であったとは言えたがてがません。 かな生活費を稼いてをおいて従れたときすべてをおいて従れたときすば、社会的には全 聖マタ日暮らしの糧を得るためにがその日暮らしたのです。 だったのです。

社会的地位などはたいして重要ではありません。しかし彼らは、教柄にとも超自然的なななく、利口でもおかったる限り、利力でもなかり、利力でとえるではなかない、利力ではいい。とれて、「はないです。インを説明しては、かったのです。イエスが、ファリサイは、です。イエスが、ファリサイは、はいいではいいでいたのであるによってほのめったのではいいを買わなかったのである。

られているのだと早合点したのです (マタイマタイ16・6-7)。

貧しく無知でした。とは言え、単純 素朴であったわけでもありません。 たいした能力もないのに、たいそう な野心家だったのです。イスラエル の最終的な王国をイエスが地上に建 設なさると考えたので、その時には 誰が一番上になるかということにつ いて何度も議論しあいました。人類 のためにイエスがご自身をまさにお 捧げになろうとしている、最後の親 密な晩さんのあの大切な時でさえ も、彼らは夢中になって言い争って いたのです(ルカ22・24-27)。

キリストご自身も言われたように 7、信仰はあまり持っていませんで した。死者の蘇りや多数の病人の治 癒、パンや魚を増やされたことや嵐 を鎮められたこと、悪魔を追い出さ れたことなどを目撃しました。 (...) あの信仰の薄かった人々は、キリストへの愛という点では他の人よりも優れていたのでしょうか。確かにキリストを愛していました。少なくとも言葉の上では(...)

前の彼らはこうだったのです。弱さを持ち、実行よりも口数の多い、月並みの人々でした。しかし、人を漁るものとするために(マタイ14・19)、世の救済の協力者・神の恩恵を司る者とするために、そのような彼らをイエスは召されたのです。(知識の香2)

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/dailytext/anatani-Tanjun-sa-Junshin-sano-Kakerukotoganaiyouni/(2025/11/29)